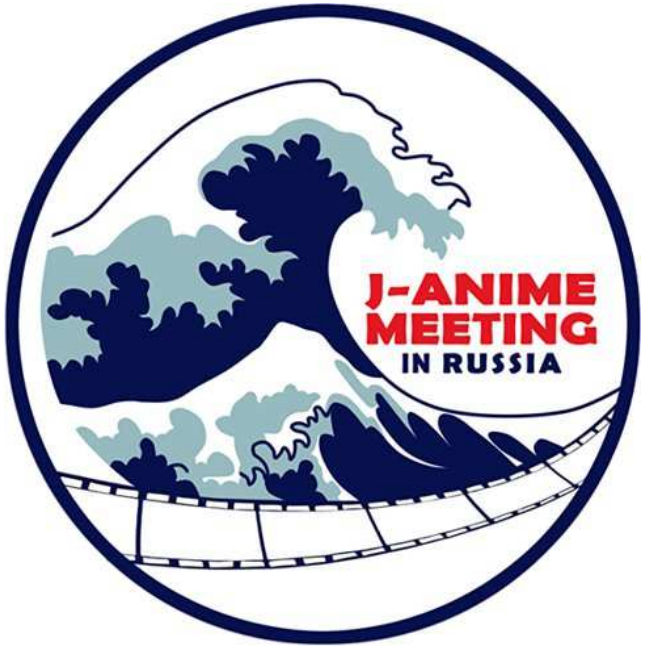
日露地域交流年
2020-2021



J-Anime Meeting in Russia 開催報告書

2020.11/14-15 オンライン開催
産官学共同プロジェクト
日露地域交流年2020-2021 認定事業

実施概要

- **名称**　J-Anime Meeting in Russia
- **開催日時**　2020年11月14日（土）10:30~21:00
  2020年11月15日（日）11:30~21:30　※モスクワ時間
- **会場**　オンライン開催（ライブストリーミング＆オンデマンド上映）
- **主催**　日本映像翻訳アカデミー株式会社（JVTA）
- **共催**　東京外国語大学
- **協力**　神戸市外国語大学、モスクワ市立大学
- **開催協力**　ロシア映画製作者連盟
- 「日露地域・姉妹都市交流年」認定事業
- 経済産業省「コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金（J-LOD）」採択事業

日露地域交流年
2020-2021

J-LOD
Subsidy Program for JAPAN CONTENT

Message

From
在ロシア日本大使館

J-ANIME MEETINGのご成功を、心よりお祝い申し上げます。

新型コロナウィルスの感染拡大に伴う制限という、これまでにない厳しい状況の中で、当初予定していたモスクワでの映画上映ができない、ロシアと日本との往来も制限があり物理的な距離を乗り越えなければならないなど、様々な困難があったことと思います。そのような状況においても、８０名もの日露の学生が、新たなアイデアを出し合いながら、日本のアニメの魅力を伝えたいという初心を貫徹し、実現にこぎ着けたことを、高く評価します。在ロシア日本国大使館としても、モスクワ市政府の協力を得て「モスクワ日本月間」の一つとして紹介したり、大使館のSNSで発信したりなど、ささやかながら皆様の取組を応援させていただきました。

今回の経験は、通常のインターンシップでは得られないような、今後の皆様の人生においてきっと役に立つ、貴重な機会であったことと思います。若い皆様が、J-ANIME MEETINGで育んだ友情を更に大きく育て、日露の架け橋となる人材として活躍していかれることを期待します。また、学生たちを指導し、支援した東京外国語大学及び日本映像翻訳アカデミーを始め、関係者のご尽力に対し、心より敬意を表します。このような取組が今後も継続され、益々発展していき、日露関係の深化につながることを願っております。

在ロシア日本国大使館
広報文化部長　公使　山本敏生

山本敏生

Message

【主催】
日本映像翻訳アカデミー

企画から運営までを日露のインターンが担った「J-Anime Meeting in Russia」は、学生が作る映像祭の枠を遥かに超えて、'学生ならではの創造性から生まれた特別な映像祭'として成功を収めました。海外では知られていない過去のアニメーション作品に光を当て、魅力の深部に迫りながらロシア語字幕を編む作業はプロの映像翻訳者でも困難です。にもかかわらず、優れた翻訳を施してロシアの方々に紹介する事業を成し遂げたインターンの皆さんを、今、とても誇りに思います。

同時に、こうした学生を育み、本事業への参加の機会を与え、長期に渡り見守り続けていただいた東京外国語大学の沼野恭子教授、新井滋特任教授、神戸市外国語大学の金子百合子教授、モスクワ市立大学のフェヂャーニナ　ウラドレーナ日本語学科長をはじめとする日露の先生方に、心から感謝を申し上げます。本プロジェクトに参加した学生たちの姿は、先生方の日頃の教育指導が確かなものであることを証明しています。

また、ロシアでの事業経験が豊富とは言えない当社にとって、ロシア映画製作者連盟に早くから協力を表明していただいたことは大きな励みとなりました。さらに、在ロシア日本大使館より「日露地域交流年2020-2021」の事業認定をいただいたことは、コロナ禍にあって本プロジェクトを継続するうえでの力となりました。深く御礼を申し上げます。

近い将来、本プロジェクトを成し遂げた学生たちが、ビジネスや文化交流など様々なフィールドで日露の架け橋となることを願っています。

日本映像翻訳アカデミー(JVTA) グループ代表
新楽直樹

Message

【共催】
東京外国語大学

思い起こせば、JVTAの皆さんとの「協働」が始まったのは昨年（2019年）3月。それ以来、何度も打ち合わせを重ね、さまざまなシーンでご一緒させていただくうちに、JVTAと本学は深い信頼関係を構築することができました。J-Anime Meeting in Russiaはそうした信頼の上に成り立った、まことにかけがえのない貴重な経験・成果でした。

もともと外国語を媒介とした教育機関であるという意味でJVTAと本学の相性がよいであろうことは想像していましたが、「ことば」を重んじ人を育てるという新楽直樹代表の素晴らしい理念、それを現場で実践する浅川奈美プロデューサーを初めとするJVTAの皆さんの情熱と知見に、この間ずっと感銘を受けつづけてきました。本学を含む日本とロシアの大学の学生たちを80名近くもインターンとして快く受け入れ、ご指導ご鞭撻いただきましたことに、あらためて心からお礼申し上げます。どんなに感謝してもしきれないくらいです。

とりわけ意義深いのは、プロジェクトの全過程（企画・プレゼン・広報・運営など）に学生たちが主体的に参加できたこと、しかもそのほとんどの場面で日本とロシアの学生が互いに協力しあったことです。コロナ・パンデミックという前代未聞の困難が降りかかっても、JVTAの皆さんの変わらぬサポートのおかげで、J-Anime Meeting in Russiaは形を変えて実施され、大好評を得ることができました。こうした経験は、教育産業やエンターテインメント産業にしか通じないというものではなく、どんな業種であってもクリエイティヴな面のある仕事であれば、かならず通用するものではないでしょうか。

今回はオンラインでの開催となりましたが、次回はぜひモスクワでJ-Anime Meeting in Russia 2021 が実施できることを願ってやみません。来年モスクワで皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

東京外国語大学教授
沼野恭子

Message

【協力】
神戸市外国語大学

まさに「想定外」としか言様の無かった2020年コロナ禍のもと、幾多の困難を乗り越え、産学共同プロジェクト「J-Anime Meeting in Russia」が、大盛況のうちにフィナーレを迎えられることを心よりお喜び申し上げます。互いの言語を学ぶ熱意ある日露の大学生が共通の目標に向かって長期間にわたり協働し、大規模な国際イベントを成果物として結実させた事実は、その過程の貴重な経験とともに、当インターンに参加した学生たちの誇りと自信に繋がったことでしょう。とは言え、社会経験の乏しい学生たちを最後まで支え導いてこられた日本映像翻訳アカデミーの皆様のご苦労は如何ばかりであったかと思います。この場をお借りし深くお礼申し上げます。また、神戸市外国語大学は以前より東京外国語大学と教育・研究交流を重ねておりますが、今回のインターンでも両大学のロシア語専攻の学生が相互に学び合える機会が持てましたことを大変嬉しく思います。

インターン生は、字幕翻訳を通し、翻訳が単なる言語間の語義的対応ではなく、言葉と人と社会をめぐる多面的なものであることを実感しました。さらにイベント企画運営を通し「伝え方」の多様な形を経験しました。インターン中はタイムスケジュールに追われることも多かったでしょうが、後で今回の活動全体を改めて振り返り、どのような「気づき」があったかを思い返すことで、確実に今後の自分への成長の糧とすることが出来るのだと思います。

インターン生を支えられた全ての方々の情熱とご尽力に感謝申し上げます。

神戸市外国語大学教授
金子百合子

Message

【協力】
モスクワ市立大学

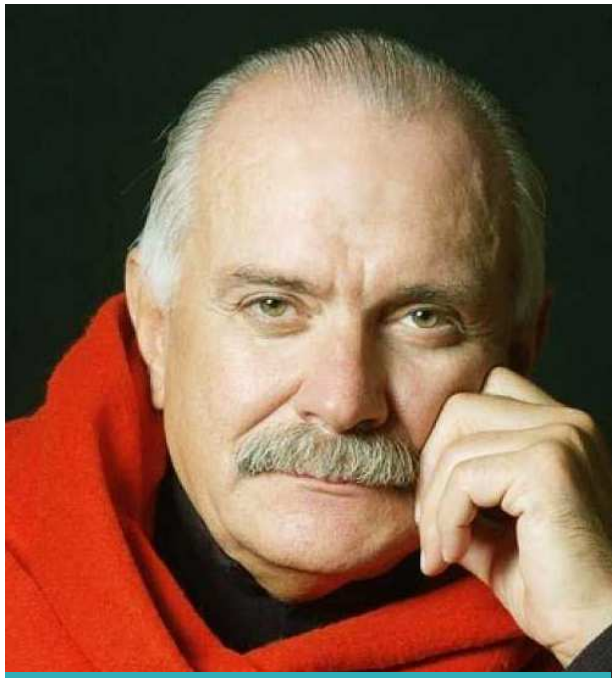
J-Anime Meeting in Russiaは、教育と情報交流において大きな可能性を秘めた素晴らしい国際的文化プロジェクトです。

インターンとして参加したロシアと日本の学生たちは、このフェスティバルのおかげでよりお互いを知ることができました。貴重な実務経験とコミュニケーションを通し、彼らは、実践的な専門スキル（組織力、チームワーク、作品解釈、言語分析、字幕翻訳）を習得し、日本語力/ロシア語力を向上させることができたのです。互いの国に対する理解も深まりました。

フェスティバルの観客は、アニメを心から楽しみながら日本の文化に触れることができました。多様なジャンルから選定された作品は、日本の歴史や現代の日本社会の生活など様々な側面をロシアに紹介してくれました。

J-Anime Meeting in Russiaは、今年、世界中を襲った状況にすら屈することもありませんでした。プロジェクトの主催者とインターン生たちが、創意工夫を凝らし柔軟に対応していった結果、新しい形、オンライン開催として成功を収めることができたのです。将来、今度は日本でロシアのアニメを紹介するフェスティバル、“R-Anime Meeting in Japan”を開催することができれば幸いです。

モスクワ市立大学日本語学科長
ウラドレナ・フェディアニナ



ニキータ・セルゲイエヴィチ・ミハルコフ

「ロシア映画製作者連盟」会長
映画監督・脚本家・俳優

モスクワ出身。代表作に『黒い瞳』(1987年)、『シベリアの理髪師』(1998年)などがある。 1991年、『ウルガ』ヴェネツィア国際映画祭の金獅子賞など、世界的にその名が知られる監督。曾祖父は19世紀画壇のワシリー・スリコフ、祖父は画家ピョートル・コンチャロスキー、父はロシア国歌を作詞した児童文学の大家セルゲイ・ミハルコフ、母は詩人で翻訳家のナターリヤ・コンチャロフスカヤと、ロシア屈指の芸術家一家に生まれる。

皆様こんにちは。
J-Anime Meeting in Russiaへようこそ！

この映画祭はロシア映画製作者連盟のみならず、ロシアの映画業界にとっても、前例のない独特なフォーマットで開催されます。日本のメディア、特にアニメに対しロシアの国民は大きな関心を持っているにもかかわらず、モスクワやロシアの他の都市でこの規模のイベントが事実上ないことは、非常に残念に思います。

会場はロシア映画製作者連盟の拠点であるドムキノです。この歴史的な建物で意義あるイベントを開催することは、互いの国を真に理解していく大きな一歩となることを、私は確信していします。
ゲストとご来場の皆様のご健勝をお祈りしております。
それではどうぞ、お楽しみください。

ニキータ・セルゲイエヴィチ・ミハルコフ

こちらのメッセージは当初予定していた2020年5月14,15日開催に向け、
ニキータ・セルゲイエヴィチ・ミハルコフ氏よりいただいたものです。

ロシア映画同盟 ドム・キノ

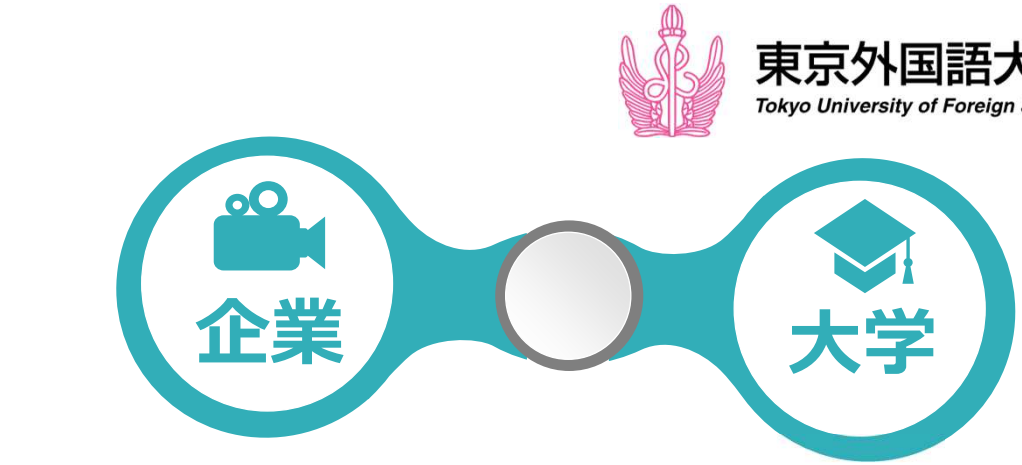
（ヴァシリエフスカヤ通り13、モスクワ、ロシア）
大ホール：1100席　／小ホール：60席

国の映画芸術発展の中心となる映画連盟を作るするというアイデアは、ソビエトの映画監督であり脚本家のセルゲイ・エイゼンシュテインから出されました。 1934年5月4日、700席の講堂を備えたモスクワシネマハウスが、ヴァシリエフスカヤ通りに建てられた古い2階建ての邸宅（1906年建築）にオープンしました。以来、映画をはじめとしたさまざまなエンターテインメントが上演されてきました。

開催予定だったモスクワの会場

産学共同プロジェクトとして発足

高度なグローバル人材の育成に取り組んできたJVTAは2019年3月より、世界展開力強化事業（ロシア）で日露ビジネス人材育成に取り組む東京外国語大学及びロシア協定校の学生をインターンとして受け入れ始めました。インターン受け入れが軌道に乗ってきた段階でJVTAより東京外国語大学に「J-Anime Meeting in Russia」の企画を提示。JVTAを主催、東京外国語大学を共催として、プロジェクトが発足しました。日露東京外国語大学の学生をはじめ、ロシア協定校からも学生を募り、国境も時差も言葉も超えたを日露学生インターンが主体の産学共同プロジェクト「J-Anime Meeting in Russia」がスタートしました。その後、モスクワ市立大学、神戸市外国語大学が協力校として加わりプロジェクトは拡大していきました。



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

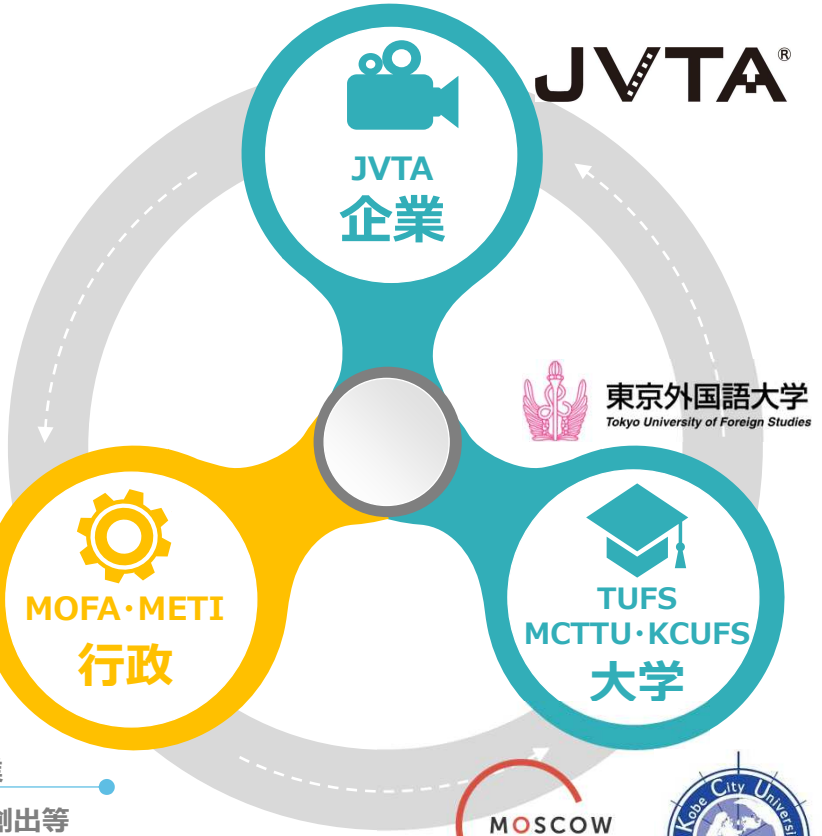
JVTA®

MOSCOW CITY UNIVERSITY

Kobe City University of Foreign Studies

産官学協同プロジェクトへ

J-Anime Meeting in Russiaは、2020年3月に「2020-2021年日露地域交流年事業」として認定され、在ロシア日本国大使館からの支援をいただくことになりました。また経産省「コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金（J-LOD）」にも採択いただき、パブリックセクターからのサポートを得ることができました。



日露地域交流年
2020-2021

J-LOD

外務省　日露地域交流年認定事業

経産省　コンテンツグローバル需要創出等
促進事業費補助金（J-LOD)採択事業

JVTAが考える
グローバルインターンシップ

異なる言語によるコミュニケーション能力

日露学生が、日本語、ロシア語、英語など複数言語でコミュニケーションをとりながら業務を行いました。グローバルな環境で実務に取り組む事で、語学力・異文化理解力・調整力・交渉力が飛躍的に向上

ICTを活用したボーダレスなインターンシップ

インターンの所在地がロシア・日本であってもSlack・Zoom・BOXなどを用い、リモートでの実務指導、インターン同士の迅速なコミュニケーション、セキュリティ性の高いデータのやり取りを実施

言葉・時間・空間を超えたリーダーの育成

企業との交渉や、外部への情報発信など重要な業務も、JVTAの指導のもと学生が行いました。言葉も文化も違う日露混合チームを取りまとめていく統率力が養われ学生にとって得難い経験となった

DX時代に即戦力となる
高度なグローバル人材を育成

学生が取り組んだ具体的なタスク

01 プログラミング

JVTAのスタッフの助言を受けながら、どんな人たちに見に来てもらいたいかターゲティングを行い、「好きな作品」ではなく「コンセプトに合った見せたい作品」を選定しました。権利元をリサーチし、JVTAのスタッフの指導のもと版元へのメールや上映料の交渉も行いました。40作近くアニメについて上映権交渉を行い、最終的に短編11作品、長編2作品の上映が決定しました。

02 翻訳

短編11作品、長編1作品のロシア語字幕制作を、JVTAの指導、そしてプロのロシア語字幕制作者の監修のもと行いました。1チーム3～6人で13チーム、合計55人の日露学生が翻訳業務に携わりました。1作品についておよそ2ヵ月ほどかけて翻訳しました。字幕原稿を書き、それを何度も相互チェックしては書き直し、ブラッシュアップしたものをプロに確認してもらい、さらに修正を加えて字幕を完成させました。制作した字幕の一部は権利元に買い取っていただきました。

03 PR・宣伝

JVTAの助言のもとイベント開催までのパブリシティ戦略を作成し、SNS（Instagram、Twitter、Facebook、VK）での情報発信を行いました。主にロシア人はロシア向け、日本人は日本向けのPRを行いましたが、発信記事のアイデアについては皆で意見を出し合いました。チラシ、ポスター、PR動画などPRマテリアルの制作も行いました。JVTAの指導のもとプレスリリースを配信したり、メディア対応を行いました。

04 制作・運営

ロシアの向けにオンラインで上映イベントを行うのに適した上映プラットフォームを探して検討しました。最終的にFilm Festival+を使用しました。ロシアの人が見やすいように考えながら上映スケジュールの編成の編成を行いました。上映アニメに関連するゲストをブッキングしトークイベントの作成を行いました。

習得したスキル

チャレンジ精神
（変革する力、バイタリティ）

チームワーク力
（共感力、チーム志向）

コミュニケーション力
（論理的思考、伝える力）

リーダーシップ力
（周囲を巻き込む力、主導力）

主体的行動力
（自律的アクティビティ、やりぬく力）

グローバル素養
（異文化受容力、語学力）

グローバルな

オンライン上映イベント

開催のノウハウ

オンライン上映イベントへの５つの壁

J-Anime　Meeting in Russiaの場合

主催者：日本
開催国：ロシア

主催国と開催国が違うことで、運営、チケッティング、支払い、上映権利など日本国内における上映イベント運営のノウハウだけでは解決できない様々な障害が立ちはだかりました。

アニメの上映許可を取るにあたり、権利の所在を特定するのに苦労しました。

ライセンサーと
ライセンシーの所在

ファンサブの罠

ロシアでは当たり前のようにアップロードされている違法動画やファンサブとの差別化を図る必要がありました。

オンラインに対する警戒心
（現地開催からの契約変更）

オンラインでの上映に切り替えることになりましたが、コロナ禍より前にオンライン上映は一般的ではなかったため実績が少なく信頼性も低い状況でした。

製作委員会方式

ライセンスの所在が分かっても、そのアニメが「制作委員会もの」である場合承認を得るのに時間がかかり、断られるケースもありました。

上映プラットフォームの模索

当初、モスクワの映画館での上映という契約を結んでいたため、アニメを視聴できる地域をロシアのみに限定する必要がありました。また長編アニメ2作品を有料コンテンツとし、ほかを無料視聴に。さらにトークショーやワークショップなどのイベントは世界中どこでも視聴可能。これら４つの条件すべてを満たすプラットフォームでなければなりません。

1. **指定したコンテンツのみgeoblock**
2. **有料コンテンツ・無料コンテンツの区別**
3. **有料上映の支払いをルーブルで決済**
4. **ライブストリーミング上映と
オンデマンド上映の混在**

vimeo

他イベントでも使用されており信頼性は高いものの、指定したコンテンツのみのgeoblockやライブ上映が出来ず、無料上映が難しいうえに長編映画の支払いもドルでのみ対応とのことだったため断念することになりました。

MUVI

ライブ上映が可能で、指定したコンテンツのみのgeoblockは可能でしたが、長編映画の支払いについてPaypalとMUVIの間で問題が生じてしまい、使用を断念することになりました。

上映プラットフォームの模索

Film Festival+とは？
カリフォルニアのデザイン会社AzureFire
が開発したオンライン上映プラットフォーム

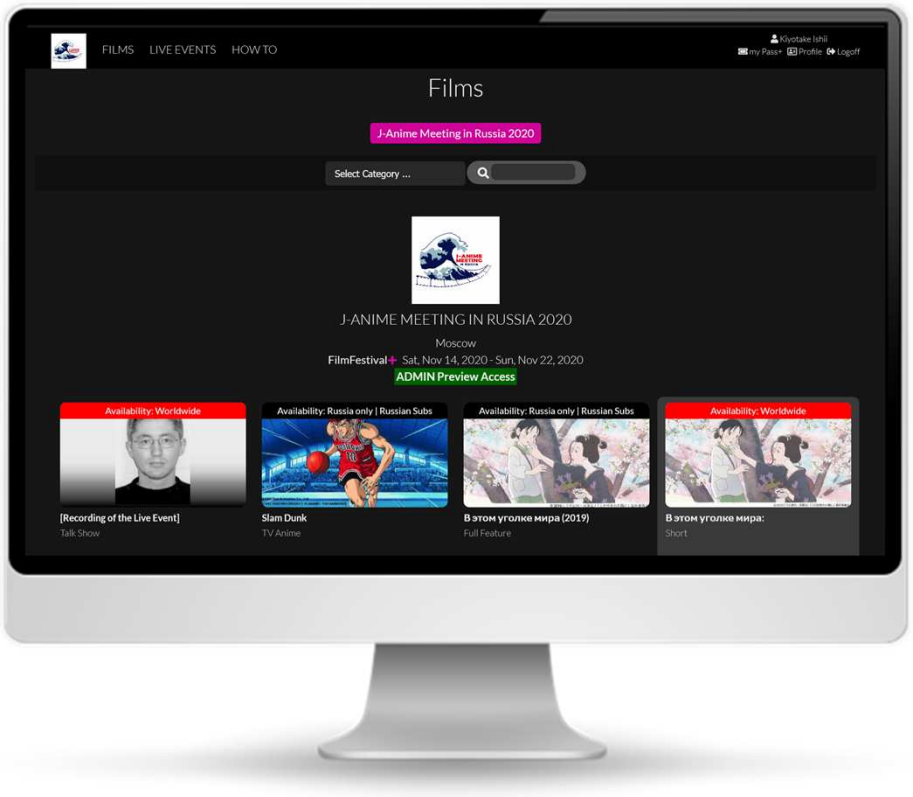
・アニメのみ視聴をロシアに限定することが出来ました。
→限定されたgeoblockに対応！

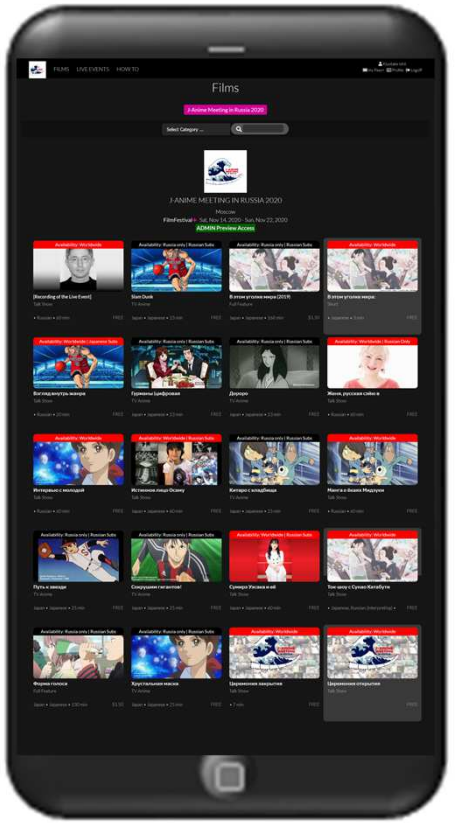
・支払いもルーブルで行うことが出来るシステムでした。
→ロシア人にとって納得感のある価格設定が可能に！

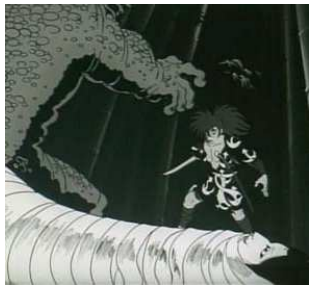
・インターフェイスの表記は英語のみでした。
→日本語・ロシア語で使い方のマニュアルを作成して対応！

ニューノーマル時代の
DXに対応した
グローバルなオンラインイベント在り方を提示

実際の上映プラットフォーム





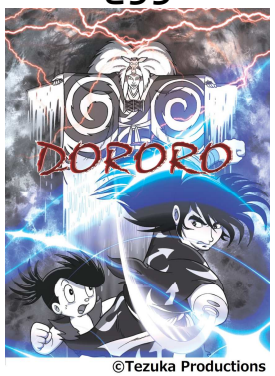


作品選定に込めた思い -届け！アニメの多様性-

海外にも浸透しているかに見える日本のアニメコンテンツですが、未だ紹介されてない魅力溢れる作品は多数存在します。本イベントでは「コトバの翻訳、コンテキスト（文化背景）の翻訳」を根底のテーマに据え、新旧の作品群からユニークかつ魅力的な要素を内包した作品を、日露学生が厳選しました。
日本アニメファンに楽しく鑑賞してもらうに止まらず、作品のコンテクストや背景などを「学び」、「自ら参加して創る」イベントを企画。ゲストを招いてのトークショーやワークショップを多数開催。産学協同プロジェクトの特性を全面に打ち出したJ-Anime Meeting in Russiaは、新たな日本アニメファン、ひいては日本文化ファンを獲得し、日露文化交流の加速化に貢献しました。

上映作品 (全12タイトル)

どろろ



©Tezuka Productions

鬼灯の冷徹

©E, K／H2

ゲゲゲの鬼太郎

©1971 Toei Animation Co., Ltd.
©Mizuki Productions, Toei Animation

ガラスの仮面

美味しんぼ

©雁屋哲・花咲アキラ・小学館／シンエイ動画

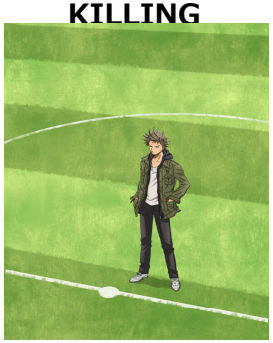
舟を編む

©Genbu Dictionary Editorial Dept.

ちはやふる

©Yuki Suetsugu / KODANSHA LTD.
©VAP / NTV

GIANT KILLING



©2010 TSUJITOMO*MASAYA TSUNAMOTO*KODANSHA／NHK*NHK ENTERPRISES

巨人の星

SLAM DUNK

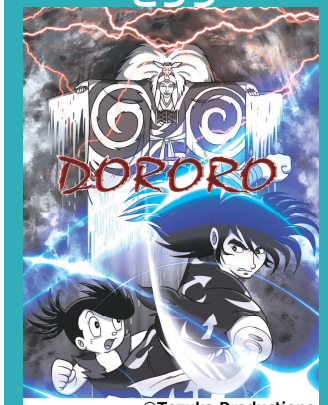
©1993 Toei Animation Co., Ltd
©1993 TAKEHIKO INOUE/I.T. PLANNING, TOEI ANIMATION

この世界の（さらにいくつもの）片隅に

聲の形

テーマ①：日本の妖怪 ～人間世界を映す鏡～

どろろ



©Tezuka Productions

概要
(**製作:1969年**) 原作は「漫画の神様」と呼ばれた手塚治虫氏。主人公の少年・百鬼丸が、妖怪に奪われた自分の体を取り戻すべく、幼子の盗人・どろろとともに旅をする冒険物語

第四話『万代の巻 その２』
金小僧は埋められた金から生まれた精霊だった。金の埋まっている場所を金小僧は百鬼丸に教え、村人たちがそこを掘り返すと精霊の教えたとおりに金が出てくる。それはもともとは村人が例の醜怪な妖怪に奪われた金だった。女名主の万代はそんな村人を哀れんで金を恵んでやっていたのだという…。

鬼灯の冷徹

©E, K／H2

概要
(**製作:2018年**) 日本の地獄を舞台に、死後の罪人を裁く閻魔大王の側近・鬼灯（ほおずき）を主人公としたコメディ。

第弐期３話
(Aパート)
白澤の経営するうさぎ漢方極楽満月の店内では、麒麟・鳳凰・白澤が互いに「じじい」「じじい」と言いあう姿を、冷や汗まじりの桃太郎が見守っていた。
(Bパート)
閻魔殿裏の一番大きな金魚草に乗り機嫌よさげな座敷童子を見た桃太郎は、ホッと胸をなでおろす。座敷童子は家専門の妖怪。住みつけば好きに暮らすが具体的にどう暮らしているかは、鬼灯も知らないという。座敷童子の一日とは？

ゲゲゲの鬼太郎

©1971 Toei Animation Co., Ltd.
©Mizuki Productions, Toei Animation

概要
(**製作:1971年**) 日本に初めて妖怪ブームを巻き起こした国民的大ヒットシリーズ。幽霊族の生き残り・鬼太郎を主人公に、いまや日本人なら誰もが知る個性的なキャラクターがたくさん登場し、悪者退治に大活躍する。

第2期43話
ある農村にはタイタン坊という妖怪をまつる守護石があった。科学者の中村と山田はそれを隕石とみて一部を持ち帰るが、その日から恐ろしい祟りが起こり始める。鬼太郎はタイタン坊の怒りを鎮めるため中村達に石を返すよう説得するが、彼らは聞く耳を持たない。そのうちに、祟りは二人の身にも及び始める。山田の肉体が少しずつ崩壊し始めたのだ・・・。

テーマ②：日本人の働き方 ～奇跡なのか呪いなのか～

ガラスの仮面

概要
(製作:2005年) 演劇界を舞台に、主人公・北島マヤは、かつての大女優・月影千草に見出された天才少女。持ち前のひたむきさと情熱で、次々と立ちはだかる苦難を乗り越え、女優として成長してゆく。

第7話
１週間ベスとして過ごした事で、見事テストに合格し、役を掴んだマヤ。しかし一番の見せ場である、瀕死の状態で苦しむ演技が出来ずに悩む。
マヤは冷たい雨に身をさらし、ベスと同じ苦しみを得ようとする。そして公演当日、マヤは40度の熱をおして舞台に立ち、その演技は観客に圧倒的な感動を与えた。

舟を編む

概要
(製作:2016年) 玄武書房の辞書編集部には、辞書『大渡海』の編纂に奮闘する人々がいた。口下手ながら鋭い言語センスを持つ主人公・馬締光也がその一人だ。個性豊かな編集者たちとともに辞書づくりの世界に没頭し、彼の才能が開花してゆく姿を描いた作品。

第八話
新たな社員・岸辺がやってきたが、入社以来ファッション雑誌を作ってきた岸辺は、なぜ私が辞書を……という悶々とした思いを抱えていた。そんななか岸辺の歓迎会をすることに。そこで馬締は、岸辺が「言葉を大事にする人」だと言う。しかし理解できない岸辺は、自分に辞書作りは無理だと店を飛び出してしまった……。そんな岸辺と遭遇した西岡は、ある質問をする。それはかつて、ベテラン編集者・荒木が馬締のスカウトを決めた『言葉』に関する質問だった。

美味しんぼ

概要
(製作:1988年) 1980年代に日本でグルメブームを引き起こし、「究極」という流行語まで生み出した、グルメアニメの先駆け的作品。
新入社員・栗田ゆう子と社内のやっかい者・山岡士郎は、若手ならではの味覚センスを頼りに「究極のメニュー」を探して日本中を駆け巡り、食にまつわる様々な騒動を独自の切り口で斬ってゆく。

第9話
銀座で一番といわれる寿司屋・銀五郎。おごりたかぶって「ネタも一流、ご飯も一流」と自画自賛する店主を士郎はまずいと一蹴する。ＣＴスキャンを使ってそのまずさを科学的に立証する。

テーマ③：スポーツ ～困難を乗り越え、星のように輝く～

ちはやふる

概要
(製作: 2011年) 美しく詠み上げられる和歌の札を、尋常でない精神力・瞬発力で奪い合う勝負の世界…日本特有のスポーツ「競技かるた」を取り上げた作品。主人公・綾瀬千早は、幼いころからかるたで切磋琢磨した友人・新と離れ離れになってしまう。「全国大会でいつか再会する」という約束を胸に、千早は持ち前の情熱でメンバーを集めてチームを結成し、高校でもかるたを続ける。

第１期 第１１首「あまつかぜ」
決勝戦へ進み、全国大会常連の北央学園と対戦することになった瑞沢高校かるた部。試合開始序盤、瑞沢高校は思うような攻めができずにいる中、千早は対戦相手須藤の挑発にも苛立っていた。しかし、仲間たちのかるたに触れ、1枚取ることがチームの1枚になっていくことを知り・・・。

巨人の星

概要
(製作: 1968年) 主人公・星飛雄馬が、巨人の星―日本のプロ野球で輝く選手となるまでを描いた長編アニメ。原作漫画は1966年に発表され、高度経済成長期の日本の象徴といえるほど世間に大きな影響を与えた。飛雄馬が、かつて巨人軍の三塁手であった父・星一徹の厳しい指導に耐え抜き、成長していく姿を追う。

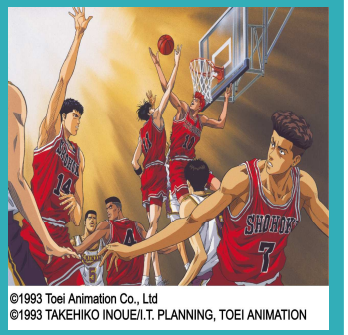
第2話
いじめっ子・赤川が、同級生ふたりをいじめているのを見た飛雄馬は、石を投げ退散させる。人前で野球の腕を見せては行けないと言う一徹に、飛雄馬は反発。一徹は、強力なバネで全身の自由を奪うギブス＝大リーグボール養成ギブスを作り、飛雄馬に装着させる。

GIANT KILLING

概要
(製作: 2010年) ジャイアント・キリングとは、番狂わせや大物食いを指す言葉。低迷を続ける日本の弱小プロサッカークラブ・ETU。立て直しのため監督に迎えられたのが、達海猛。彼の型破りな練習法、選手起用はETUにとって劇薬だった。果たしてジャイアント・キリングを起こすことが出来るのか。

＃4
新生ETUは、達海の監督デビュー戦であるプレシーズンマッチで王者・東京ヴィクトリーと対戦する。予想外の選手起用に警戒するヴィクトリー選手たち。達海の戦略によって、ETUはヴィクトリー陣営をほんろうする。いつもは活躍出来ない選手の変化に驚くコーチに、その理由を語る達海・・・。

SLAM DUNK



概要
(製作: 1993年) 友情・努力・勝利の三拍子揃った、王道の熱血スポ根アニメ。不良少年・桜木花道は、高校で初めてバスケットボールと出会う。その類稀な身体能力を活かして強敵と戦い、日本一を目指すなかでめきめきと成長していく。

83話
試合は湘北が1点リードしたまま残り1分30秒の局面を迎える。何としてでも追加点で勝利を確実にしたい湘北。そこで対する陵南高校監督・田岡は木暮を除外し、驚異的なレギュラーメンバーにターゲットを絞ろうと考えるが、それは致命的な誤算だった。花道のパスを受けた木暮は、3年間の集大成であるスリーポイントシュートを決め、湘北に希望の3点を添えるのだった!

テーマ④：歴史～戦争、運命、そして感情～

『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』

(製作:2019年) 2016年、単館上映から始まった映画『この世界の片隅に』は瞬く間に話題となり、世界中で上映される大ヒット作となった。そして、今回ロシア初上映となる『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』は、前作に250カット以上のエピソードを加え、物語の世界をより丁寧に描き出す。
舞台は第二次世界大戦中の広島県。主人公のすずは、絵を描くのが好きでのんびり屋のごく普通の少女だ。ある日すずに縁談が持ち上がり、夫となる海軍書記官・周作の住む呉市に移ることとなる。優しく愛情深い周作や、厳しいけれど憎めない義姉・径子など人間味あふれる人たちに囲まれ、新生活が始まった。おおらかな性格のすずは、戦時中の苦しい状況にもめげず、日々の暮らしを重ねてゆく。そんなある日、道に迷ったすずは、遊女・リンに助けられる。心を通わせる二人だったが、偶然にもすずは夫・周作とリンの過去のつながりに気づいてしまう。複雑な思いを胸に秘め、ひとり葛藤するすず。日々空襲の激しさが増す中、交錯する思いを抱え、大切なものを失いながらもそれぞれの人生を歩んでゆく。
戦時中という非常事態においても、ささやかな日々の営みや、一人ひとりが胸に秘めた思いは確かに存在した。“今”を必死に生き抜く人々の姿を切なくも温かな眼差しで捉え、現代を生きる私たちの心を揺さぶり続ける作品。

京都アニメーション作品：『聲の形』

(製作:2016年)『映画けいおん！』などで高い評価を得た京都アニメーションの山田尚子監督が、大今良時氏の漫画『聲の形』をアニメ化。数々の賞を受賞した長編作品。
ガキ大将だった小学6年生の石田将也は、先天性の聴覚障害を持つ転校生・西宮硝子との、ある出来事がきっかけで周囲から孤立してしまう。心に罪の意識を抱え、自分の殻に閉じこもったまま高校3年生になった将也は、硝子がいる手話サークルを訪れる。再び始まった硝子との交流や新しくできた友達、かつての同級生との関わりの中で、少年が葛藤を抱えながらも自分や周囲の人を受け入れようとする物語。 この作品で描かれているのはきらきらと楽しい青春ではない。単純に善悪を切り分けるのではなく、白黒つけられない関係性や感情の揺らぎ・醜さを、京都アニメーションならではの繊細で美しい画法で克明に描き出している。
2019年、京都アニメーションは前代未聞の事件に見舞われた。この事件によって失われたものは計り知れない。しかし、京都アニメーションの作品が世界中の人々の心を魅了し続けてきた事実は消えようもない。私たちにできることは、同情することではなく、京都アニメーションの作品一人でも多くの人に届けることである。一人でも多くのロシアの方にこの作品を見てもらいたいと思う。

イベント (トークショー・セミナー・ワークショップ：9プログラム)

手塚るみこさん
トークショー

上坂すみれさん
トークショー

片淵監督
トークショー

SLAM DUNKトーク

日露演劇
トークショー

アニメ業界
トークショー

水木しげる
関連セミナー

ジェーニャさん
トークショー

かるたワークショップ

娘、手塚るみ子が語る手塚治虫という天才
ーマンガの神様の素顔に迫る

【概要】ロシア芸術と手塚治虫氏のインスピレーションの関係

『どろろ』を本イベントのコンテンツの1つとして上映する縁で、手塚治虫氏の長女で ㈱ 手塚プロダクション取締役員でもある手塚るみ子氏をトークのゲストとしてお呼びしました。

漫画のみならずアニメにおいても多大な影響を後世に与える手塚治虫氏の、創作時のインスピレーションの源や、るみ子氏と父治虫氏の関係性など貴重なお話をたくさんお聞きすることが出来ました。その中でも特に、チャイコフスキーの音楽やドストエフスキーの小説、ユーリ・ノルシュテインのアニメなど、ロシアの芸術が手塚氏の創作に与えた影響や、彼のアニメ観についてお話を伺うことが出来たのは “ロシアに向けたアニメイベント”であるJ-Anime Meeting in Russiaのトークショーだったからこそであり、他では聞けないとても意義深いことであったと言えます。

出演：手塚るみ子（ゲスト）、香春汐里（東京外国語大学）、ミレーナ・アディルバエワ（国立研究大学高等経済学院)、アレクサンドラ・プリマック（上智大学）

【手塚るみ子　プロフィール】

プランニング・プロデューサー、㈱手塚プロダクション取締役員、手塚治虫の長女。卒業後広告代理店I&Sに入社し、後にフリーとなり手塚作品をもとにした企画・タイアップのプロデュース、コーディネーション活動を始める。ABCラジオ『EarthDreaming～ガラスの地球を救え』の番組パーソナリティも務める。

人気声優・上坂すみれさん登場！
だから声優はやめられない

【概要】上坂すみれが自身の体験を振り返り語る声優業

本トークショーでは、日本のアニメ業界を支える声優という職業の実態にスポットライトを当て、日露両国のファンに深く認知してもらうことを主眼としました。その点で、上坂すみれさんという、日露・アニメ・声優の３つのキーワードを結ぶ最適な人物をお招きすることができたのは「J-Anime Meeting in Russia 2020」の最も大きな功績の一つであると言えます。そして、このような立場での登壇となった上坂さんは、視聴した方々の感想にもありましたが、普段のイベントやラジオでの姿とは雰囲気が異なり、声優の仕事に関して、ご自身の具体的な経験談をふんだんに交えながら、非常にリラックスした様子でお話を聞かせてくださいました。

出演：上坂すみれ（声優）、杉原直樹（大阪大学）、ポリナ・ポハーボワ（国立研究大学高等経済学院）

【上坂すみれ　プロフィール】

神奈川県出身の声優アーティスト。上智大学外国語学部ロシア語学科卒業。ソ連・ロシア研究、ミリタリー、ロリータ服など様々な趣味を持つ。ロシア語が特技。「スター☆トゥインクルプリキュア」キュアコスモ役、「鬼灯の冷徹」ピーチ・マキ役、「ガールズ＆パンツァー」ノンナ役など。受賞歴は第10回声優アワード新人女優賞、LINE BLOG OF YEAR【2016 特別賞】【2017　優秀賞】等。

片渕須直監督スペシャルトークショー
～いまを生きる私たちへのメッセージ～

【概要】“日露”というキーワードと監督の世界観との繋がり

本トークイベントでは片渕須直監督をお招きし、『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』に込められた思い、アニメ制作における様々な工夫、日露の観客に伝えたいメッセージなどを中心に伺いました。

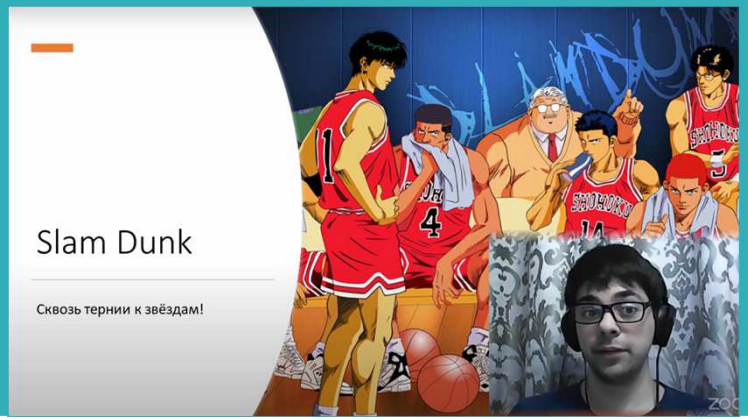
“J-Anime Meeting in Russia”ならではの観点として、監督の過去作品とロシアの民話世界との関連性や、日露で大きく異なる戦争の認識に対する価値観などを議論しました。国や時代を超えて、この世界の”片隅”に生きる人々の営みや思いを想像しながら観てほしい、という監督のメッセージが印象的でした。

出演：片渕須直監督、マリア・プロホロワ（東京外国語大学）、松岡 実乃里(東京外国語大学)

【片渕須直監督　プロフィール】

アニメーション映画監督。1960年生まれ。TVシリーズ『名犬ラッシー』（96）で監督デビュー。
代表作は長編アニメ映画『アリーテ姫』（01）『マイマイ新子と千年の魔法』（09）『この世界の片隅に』（16）など。

なぜ『SLAM DUNK』は世界中を魅了し続けるのか？
～日本独特の「スポ根」ジャンルを読み解く～



【概要】SLAM DUNKに見る日本の文化

本イベントの大きな特徴は、SLAM DUNKを単なる「人気バスケットボール漫画」として扱うだけではなく、「日本文化を代表する作品」の一つとして取り上げ、日露両学生の視点から見つめ直すことで、より多角的な視点からの考察・発表がなされているという点です。

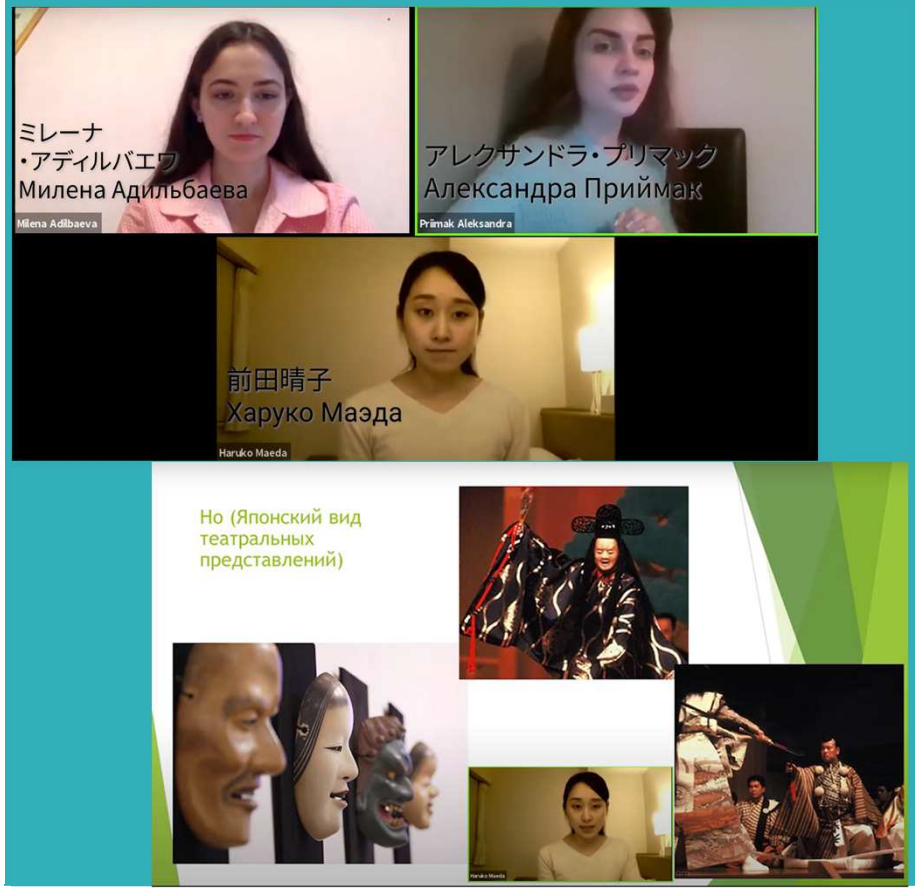
例を挙げると、日本の学校における部活動の在り方や生徒たちに対して果たす役割、更には部活動に所属する学生の1日の時間の使い方の一例などを紹介しました。

また日露両学生によって発表を行うことで、異なるバックグラウンドを持つ若者たちが、本作品中に込められた日本文化や日本人の精神をどのように受け止め、何を考えたのか、それぞれの視点を楽しむことが出来るイベントとなりました。

出演：エゴル・チェルノウソフ（国立研究大学高等経済学院）

髙橋明日香（筑波大学）

日露演劇人に聞く！『ガラスの仮面』にみる女優”魂”とは



【概要】日露演劇という視点から見る『ガラスの仮面』

参加者としてJ-Anime Meetingのインターン生だけではなく、ロシアへの留学経験もあり、大阪の演劇スクール「シアター・コミュニケーション・ラボ大阪」でロシアの演劇メソッドである、スタニスラフスキー・システムを学ばれた前田晴子さんをゲストとしてお招きしました。

能や歌舞伎などの伝統芸能や独自の文化を形成している宝塚歌劇、更には現代演劇など様々な形の舞台芸術に触れつつ、日露の演劇文化について討論を行いました。

日本とロシアの演劇という独自の視点から上映コンテンツの１つ『ガラスの仮面』の魅力を解き明かした、まさにJ-Anime Meetingならではのトークショーとなりました。

出演：　前田晴子 (京都産業大学)

ミレーナ･アディルバエワ（国立研究大学高等経済学院）

アレクサンドラ･プリマック（上智大学）

日本アニメがロシアでもっと愛されるためのA to Z

～アニメ業界のプロと学生のガチトーク～

【概要】日露アニメファンとロシア業界人の視点からみるアニメ業界

ゲストとして書籍、マンガ、アニメ作品を中心とした、日本コンテンツのロシアでの出版・配給を手がけるロシアエンタメ業界人、エフゲニー・コリチューギン氏をお招きして、アニメを愛する日露両学生と日本のアニメアーカイブとロシアを取り巻く様々なトピックについて、熱い議論を繰り広げて頂きました。

中でも、コリチューギン氏がロシアにおいてアニメ作品の配信事業に関わる中で決して無視できない違法サイトの存在についての議論は大変印象的でした。日露両国のアニメファンとロシアの業界人がそれぞれの視点での意見を共有し、議論を行うことで、今後の日本のアニメコンテンツの在り方について独自の切り口から考える意義深いイベントとなりました。

出演：エフゲニー・コリチューギン（Istari Comics Publishing, General Director Wakanim, Marketing Manager in Russia）、尾崎成美（東京外国語大学）、アグライア・ダニロワ（モスクワ国際関係大学）

【エフゲニー・コリチューギン・略歴】

Istari Comics設立者。書籍、マンガ、アニメ等日本コンテンツのロシアでの出版・配給を手がける。『君の名は。』のロシアでの一般公開の他、出版では『ソードアート・オンライン』等のコミックやノベライズ作品の実績が多数ある。アニプレックスグループの配信会社WakanimでMarketing Managerを務める。

妖怪漫画のクリエイター水木しげる

【概要】“妖怪漫画家” を通じて学ぶ日本の文化

ゲストとして、文化人類学者であり国立研究大学高等経済学院で教鞭を執られているユーリア・マゲラ氏をお招きし、伝統的な妖怪の描写に基づいて妖怪を蘇らせた ”妖怪漫画家” としての水木しげる氏について、レクチャーを行って頂きました。

「ゲゲゲの鬼太郎」発表に至るまでの水木氏の詳しい来歴についてや、日本における妖怪の描写の歴史、更には江戸時代に数多く出版され、後世における描写にも大きな影響を与えている絵巻物、”百鬼夜行絵巻” の数々についてもご説明して頂きました。”妖怪” という日本独自の文化について、”妖怪漫画家” の第一人者である水木氏を通じてロシア語で学ぶことが出来る、極めて有意義なイベントとなりました。

出演：ユーリア・マゲラ（国立研究大学高等経済学院）

【ユーリア・マゲラ　プロフィール】

ユーリア・マゲラ ジャパニーズスタディーズの専門家、文化人類学者、ロシア国立研究大学高等経済学院東洋学・西洋古典学研究所の講師、『日本とロシアにおけるマンガ』の編著者。国際会議「漫画の世界」https://iocs.hse.ru/mk主催者。

日本アニメに魅せられて
～ロシア人声優ジェーニャの仕事術～

【概要】ロシア人声優の目を通して触れる声優業

本トークショーでは、ロシア出身の声優としてご活躍されているジェーニャさんをお招きして、日本のアニメに興味を持ち来日を決心したきっかけや、日本の声優という職業の大変さや面白さ、演じられてきた役柄などについて詳しくお話をお伺いしました。

ロシアの視聴者が日本のアニメ業界における仕事について、ロシア出身の声優であるジェーニャさんの視点を通じて深く知ることができた点は、本イベントの大きな意義であると言えます。目標と意思があれば何でも出来る、というジェーニャさんのメッセージがとても印象的でした。

出演：ジェーニャ（声優･歌手）、ポプガエワ･アンナ（モスクワ国立大学）

【ジェーニャ　プロフィール】

ソ連生まれ、ロシア育ち、日本在住15年。2005年に来日し、「エヴァンゲリヲン新劇場版：破」で声優デビュー。声優･歌手･タレント活動のほか、アニメや映画などのロシア語監修と発音指導も多数。

劇場版アニメ「ガールズ＆パンツァー」クラーラ役、NHK「テレビでロシア語」「ロシアゴスキー」レギュラー等

1000年の歴史を誇る日本のかるた体験 オンラインワークショップ

【概要】レクチャーと実践で学ぶ競技かるたの面白さ

本ワークショップでは、モスクワの競技かるたクラブである「モスクワかるた会」のご協力のもと、上映コンテンツの一つ『ちはやふる』において、主人公たちが情熱を燃やしている競技かるたについてのレクチャーと、オンラインアプリによる体験を行いました。

レクチャーでは、競技かるたの歴史や和歌についての説明などを行い、そもそも競技かるたとはどの様なものなのか理解を深めました。続く実践パートでは、参加者は3人ずつに分かれてオンラインルームに入室し、モスクワかるた会のメンバーによるサポートを受けながら競技かるたを楽しみました。

数ある日本文化の中でも、ロシア国内ではあまり認知度が高くない競技かるたについて知識を深め、更には実践を通してその面白さを自ら体感できる機会を作り出したことは、本ワークショップの大きな意義であったと言えます。

協力：アレクセエワ･アンナ(モスクワかるた会会長)

モスクワかるた会

ロシア人視聴者の感想①

『 SLAM DUNK 』
主人公の顔の描き方がものすごく面白かったりしますね（笑）

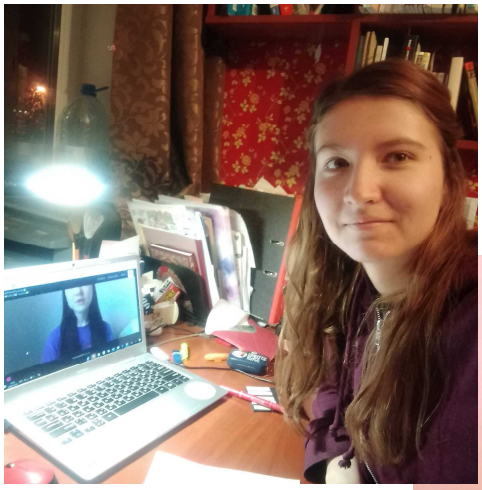
『ガラスの仮面』
漫画を読んでいてストーリーを知っていても、マヤのあんな試練をアニメで見るのは本当につらいですね。確かにアニメは雰囲気がよく伝わってきました！

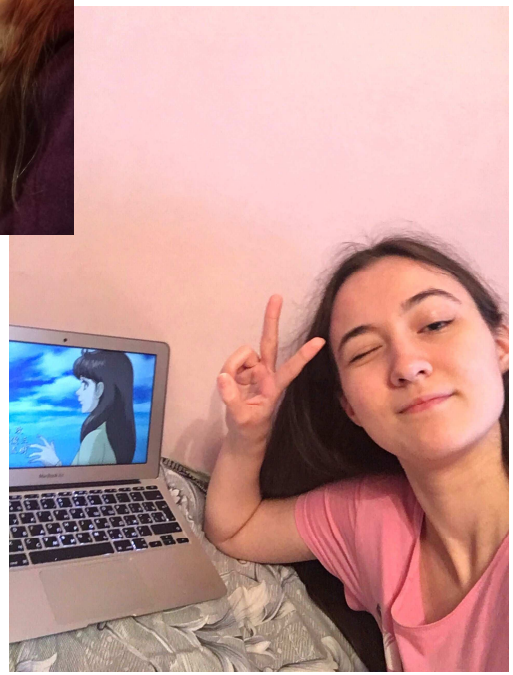
『どろろ』
古いアニメが大好きです。独特の「懐かしい」雰囲気があります。このアニメも大変気に入りました。どこかシリーズ全体を見られないかと探しています。

『ゲゲゲの鬼太郎』
レトロアニメのファンとは呼べませんが、鬼太郎を見てみました。そして、後悔はしていません! 古いアニメなので、現代の作画とかなりかけ離れているのですが、それが所々に恐ろしさを感じさせとても印象に残っています。

『聲の形』
特に感動したのは「聲の形」です。ずっと見たかった！ちなみに見る前、このアニメを見た知人から「ハンカチを必ず準備して！」と警告されました。

『 GIANT KILLING 』
とてもエネルギッシュなアニメですね。失敗を恐れているせいで自分自身で失敗を招いてしまう、といったテーマも面白かった。





ロシア人視聴者の感想②

『巨人の星』
僕にとって非常に大切なアニメを選んでくれてすごく嬉しいです。このアニメがきかっけで、何年か前ロシアの SNS でスポ根についてのコミュニティを始めました。上映期間の間、後何回か必ず見直します。

『舟を編む』
『舟を編む』がとても気に入りました。日本の「日常」がみれるアニメのジャンルは前から大好きです！

『鬼灯の冷徹』
冗談が多く楽しいですが、その一方、色々な文化や伝統を組み込んでいるところもすごく多いです。だから、何回見ても面白いと思います。

『この世界の (さらにいくつもの)片隅に』
とても感動的でした。心に響きます。ドラマチックだから時々見るのがつらかったですが、全体的にはとても気に入りました。この様なアニメを見ると、日本の文化や生活についてより深く知ることが出来てよかったです。

『美味しんぼ』
ずっと見たかったアニメ。このチャンスを絶対に逃すわけにはいきませんでした！ そして間違いなくそれだけの価値がありました！！主人公は、どこか私のグルメな友人の一人を思い出させました。

『ちはやふる』
素晴らしいアニメです。第２シーズンの後、日本に行って製作者に「ありがとう」と感謝を伝えることが夢に言いたいという夢があります。

プロジェクト参加大学　1/3

東京外国語大学

【共催】

神戸市外国語大学

【協力】

モスクワ市立大学

【協力】

プロジェクト参加大学　2/3

大阪大学

近畿大学

国立研究大学
高等経済学院
（モスクワ）

サンクトペテルブルク
国立大学
（サンクトペテルブルク）

（50音順）

プロジェクト参加大学　3 /3

上智大学

筑波大学

モスクワ国際関係大学
（モスクワ）

モスクワ国立大学
（モスクワ）

（50音順）

参加学生

大学50音順

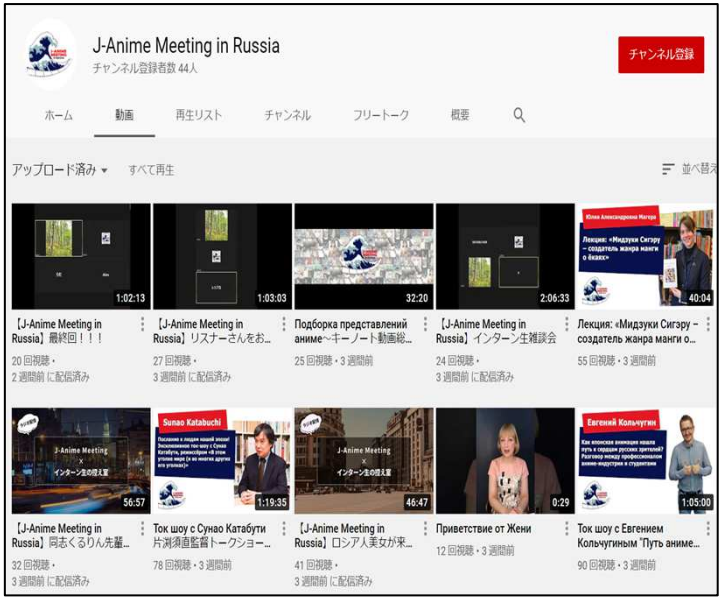
国立研究大学高等経済学院：ADILBAEVA Milena, GOLOVASTOVA Elizaveta, KAZBANOVA Daria, MUSAEVA Irina, ORKHON Deniz, OKHRIMENKO Andrei, POKHABOVA Polina, TIMONINA Maria, TURMILOVA Anna, CHERNOUSOV Egor
サンクトペテルブルク国立大学：IAKOVLEVA Iuliia
モスクワ国際関係大学：DANILOVA Aglaia, NIKITINA Evgeniia
モスクワ国立大学：POPUGAEVA Anna
モスクワ市立大学：BEREZNEKOVA Maria, BULANDO Roman, DZHAZOVA Polina, DOBRYDEN Tatiana, ZHIGUNOVA Alina, ZIMINA Aleksandra, KURMANTAEVA Almira, LEBEDEV Nikita, LIDZHIEV Renat, MARTYNOV Nikita, MISHUKOVA Margarita, MUSLAEVA Iuliia, NIKITINA Maria, SOLDATENKO Iuliia, TAGO Nadezhda, FILIPPOVA Anastasia, SHAKHOVA Maria, SHVARTS Aleksandra, SHIPILOVA Alisa

東京外国語大学：
石原 知佳、香春 汐里、小林 菜月、小池 恵美有、小島 北斗、KOTIKOV Vitaliy、松岡 実乃里、長崎 朱音、中井　優花、野村 隆壱、野津 ららな、大北 智花、尾崎 成美、PROKHOROVA Maria、齊藤 夏美、斎藤 理沙、芝元 さや香、土田 真紀子、渡辺 麻莉也
神戸市立外国語大学：
金田 亜美、久保 葵、葉山 史奈子、眞柴 茉央、岡本 碧、柴垣 愛梨、芝野 魁、和田 恵奈
大阪大学：岸田 月穂、杉原 直樹
金沢大学：大竹 さくら
近畿大学：石原 昂汰
上智大学：権平 彩矢香、廣田 有理、本橋 絢音、PRIIMAK Aleksandra、嶋谷 いづみ、髙橋 千春、柳澤 瑠名
筑波大学：髙橋 明日香
高校生ボランティア：ABDURASHIDOVA Aziza

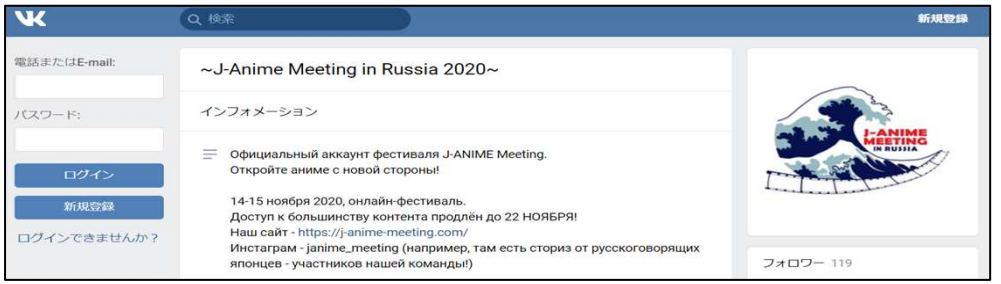
Promotion

SNS & Online Advertising

J-Anime Meetingでは、InstagramやfacebookⅠ、更にはロシアで多く利用されているSNSを使ったPR活動や、ロシア語でのネット広告の掲載等を通じてイベントの周知・魅力の発信を行った。



youtube



VK

facebook

Instagram

Instagram

SNS

Youtube, VK, facebook, Instagram, Twitter

5つのSNSを駆使し、積極的な情報発信を実施。Twitter以外の４つのサービスでは全てロシア語で投稿を行った。中でもInstagramは毎日更新し、日本の文化やアニメ、またイベント情報について精力的に紹介。

メディア掲載

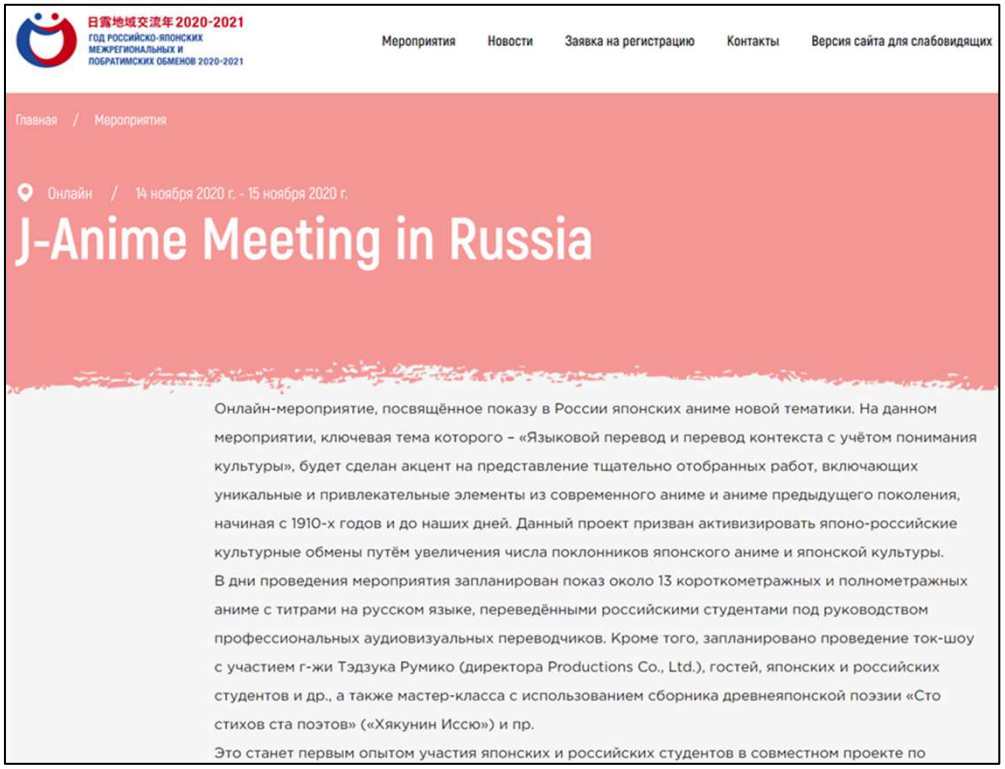
日露問わず多くのサイトに掲載！

J-Anime Meetingは、外務省より日露地域交流年事業の認定を受けた産官学連携のアニメフェスティバルとして、モスクワ市など市町村のサイトも含めた

18の日本語ウェブサイトと

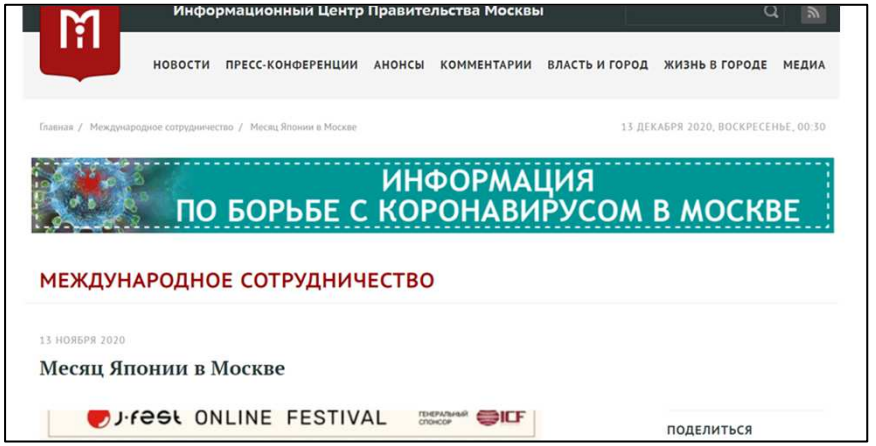
19のとロシア語ウェブサイトに

記事が掲載



在ロシア日本大使館HP

在ロシア日本国大使館の協力の下「モスクワ日本月間」の１つとして、モスクワ市政府に広報支援をいただきました。

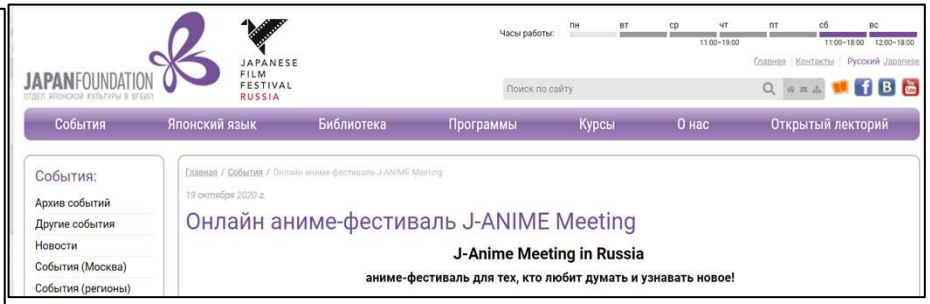


モスクワ市HP

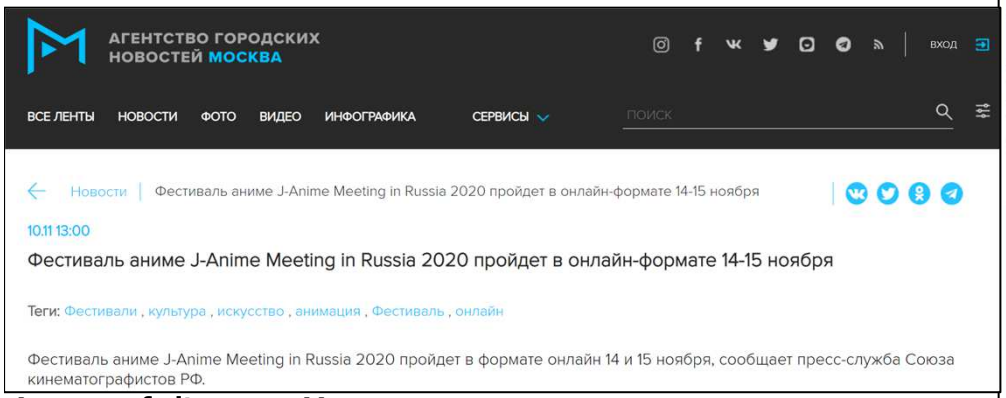
神戸市HP

各種ニュースサイト（ロシア語）

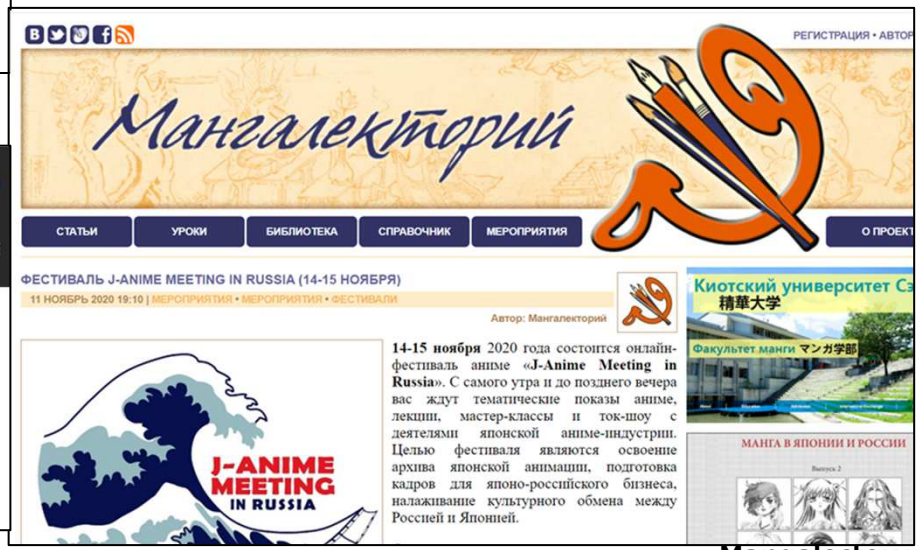
Anime conventions



Japan Foundation

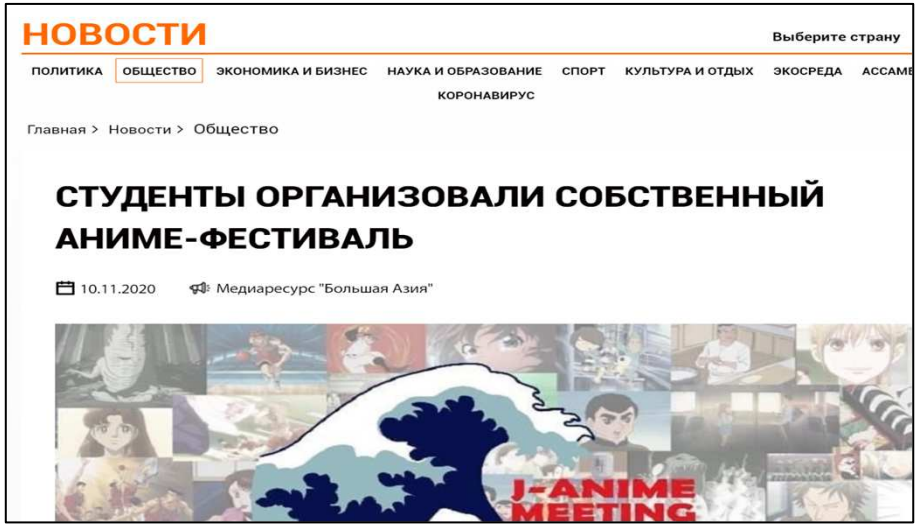


Agency of city news Moscow



Mangalectory

各種ニュースサイト（ロシア語）



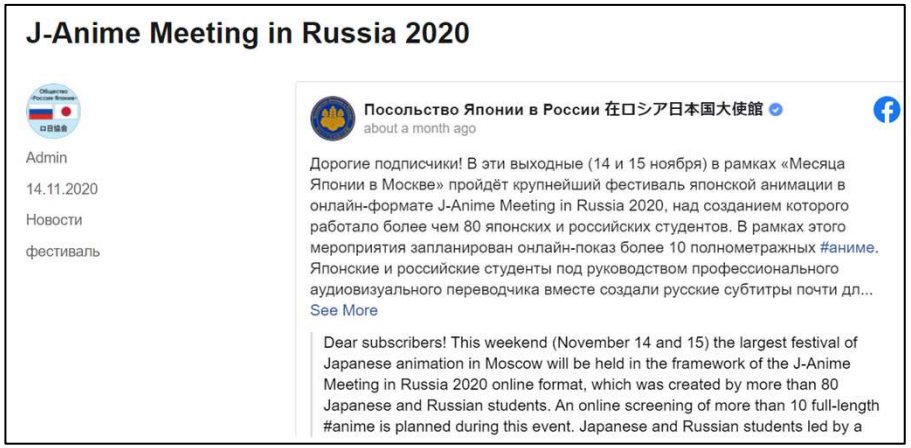
Big Asia

Seldon News

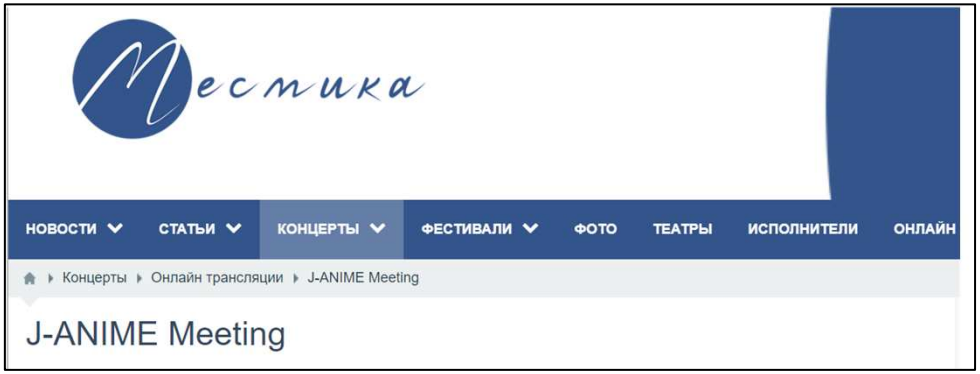
MosDay

Rambler

各種ニュースサイト（ロシア語）



Russia Japan Society



Mesmika

Sputnik

各種ニュースサイト（日本語）

AMP

exciteニュース

Cinema Café.net

各種ニュースサイト（日本語）

ニュース > 経済 > リリース　クラウドファンディング　オンライン　日露　アニメ　ロシア

日露学生インターン80名が作り上げる「J-Anime Meeting in Russia 2020」が11/14(土)-15(日)開催！ オンラインイベントを盛り上げるためのクラウドファンディング開始

B!　PUSH通知　10月24日（土）11時46分　PR TIMES

日本のアニメをロシアに広めたい！

映像翻訳者を育成する職業訓練校「日本映像翻訳アカデミー」が主催するアニメイベント「J-Anime Meeting in Russia 2020」は、日本人とロシア人の学生インターンが共に製作するモスクワ最大級のアニメイベントです。この度、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となった本イベントを一層盛り上げるためのクラウドファンディングを開始したことをお知らせします。
*このプレスリリースは就業体験の一環として学生たちが執筆を手掛けました

BIGLOBEニュース

プレスリリース

日露学生インターン80名が作り上げる「J-Anime Meeting in Russia 2020」が11/14(土)-15(日)開催！ オンラインイベントを盛り上げるためのクラウドファンディング開始

2020年10月24日（土）10時00分

いいね！ 4　シェア　ツイート 0　B! ブックマーク 0

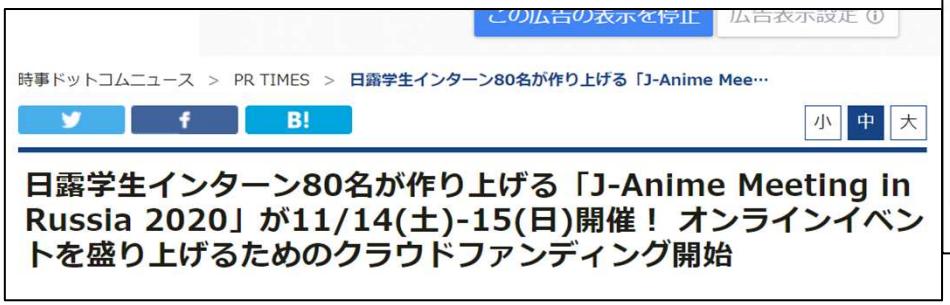
日本映像翻訳アカデミー(JVTA)
日本のアニメをロシアに広めたい！

映像翻訳者を育成する職業訓練校「日本映像翻訳アカデミー」が主催するアニメイベント「J-Anime Meeting in Russia 2020」は、日本人とロシア人の学生インターンが共に製作するモスクワ最大級のアニメイベントです。この度、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となった本イベントを一層盛り上げるためのクラウドファンディングを開始したことをお知らせします。 *このプレスリリースは就業体験の一環として学生たちが執筆を手掛けました

Newsweek

各種ニュースサイト（日本語）

PR times



JIJI .com

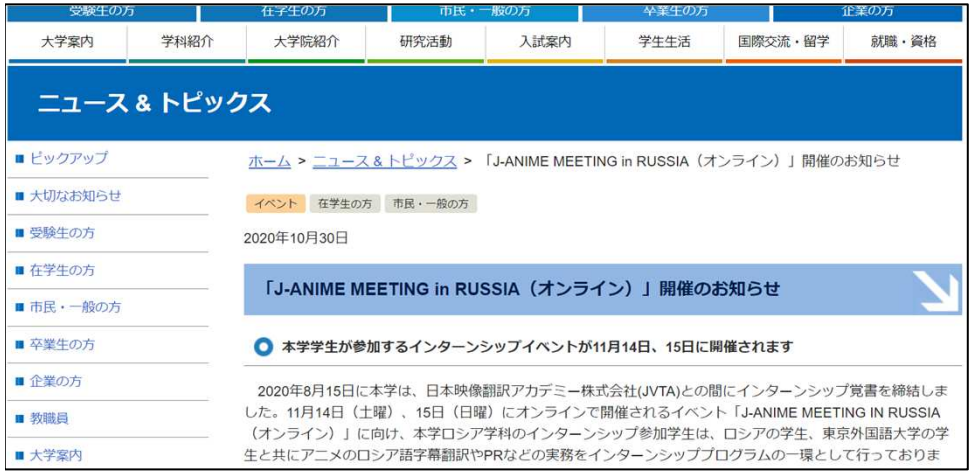
産経新聞

各種ニュースサイト（日本語）

Japan-Russia News

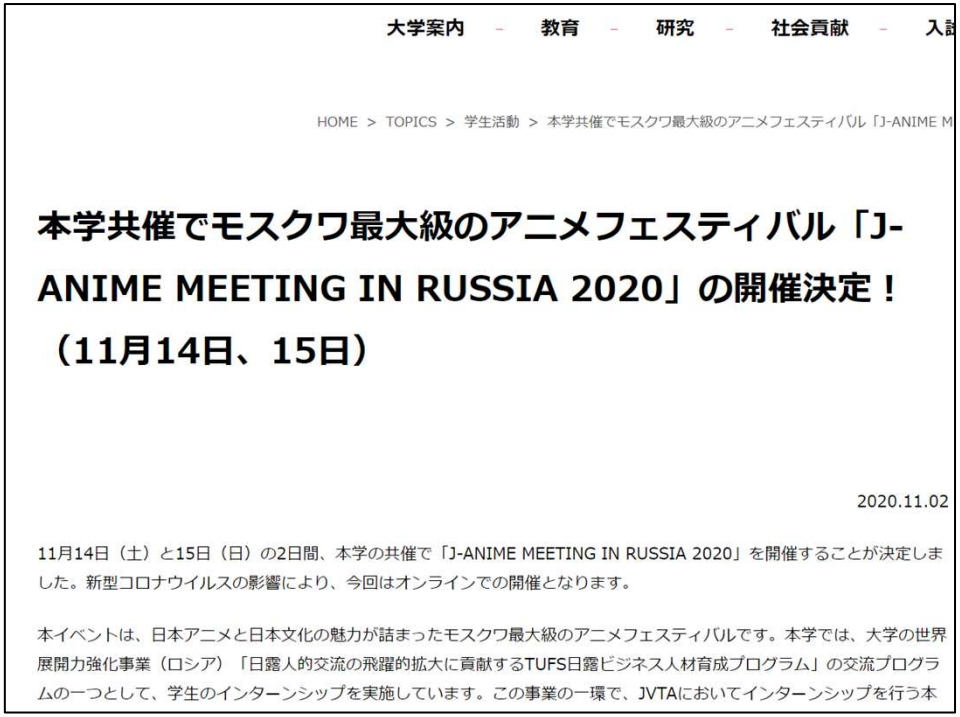
valuepress

共催・協力団体ほか



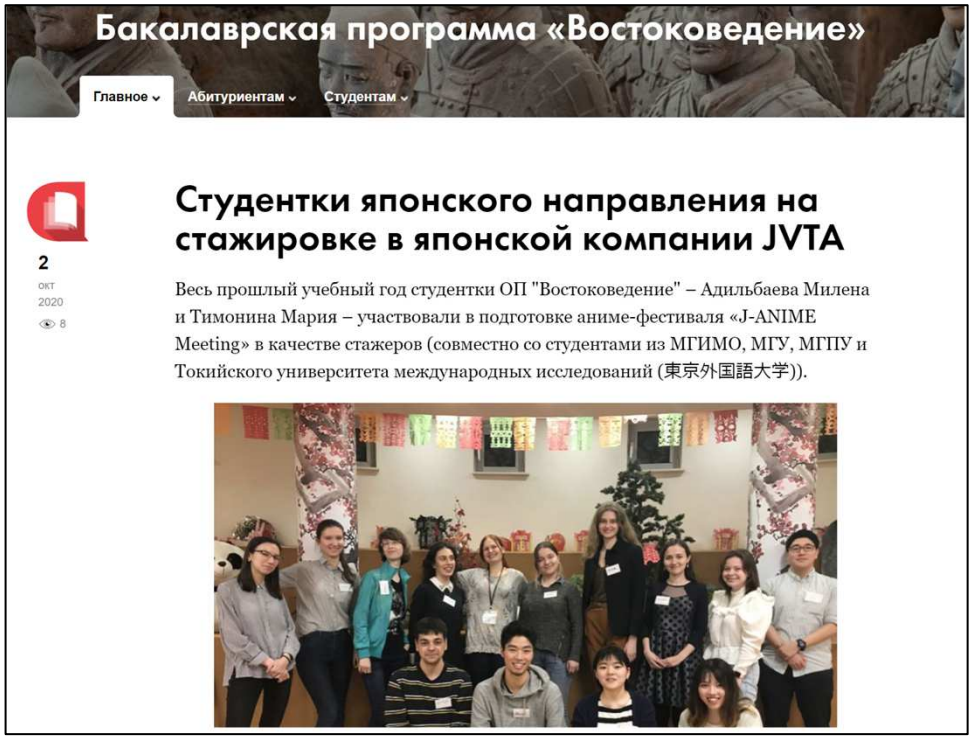
神戸市外国語大学

東京外語会

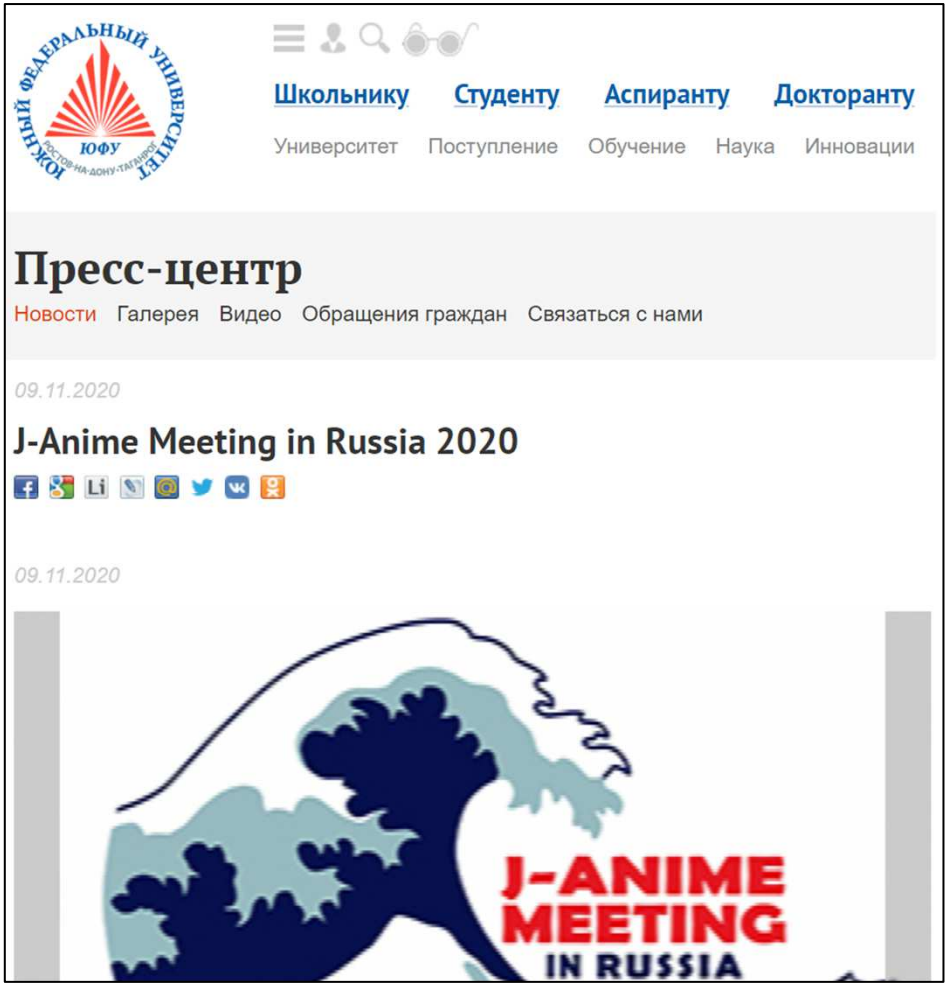


東京外国語大学

共催・協力団体ほか



国立研究大学高等経済学院

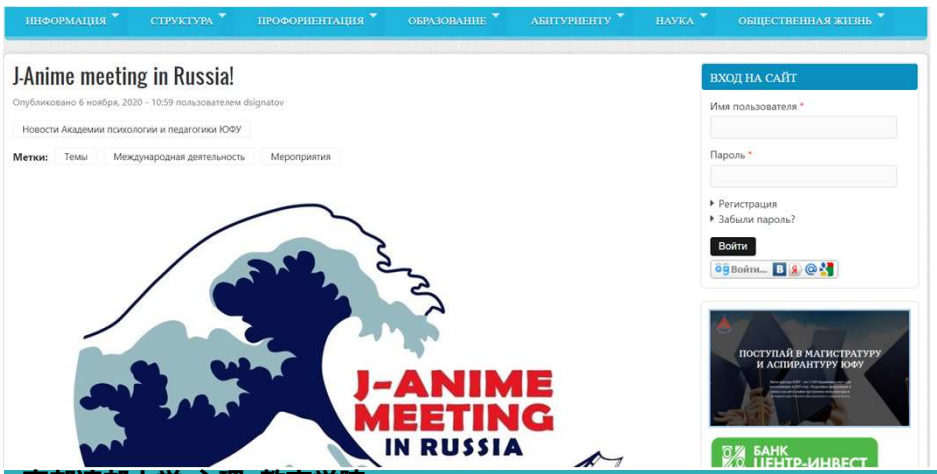


南部連邦大学

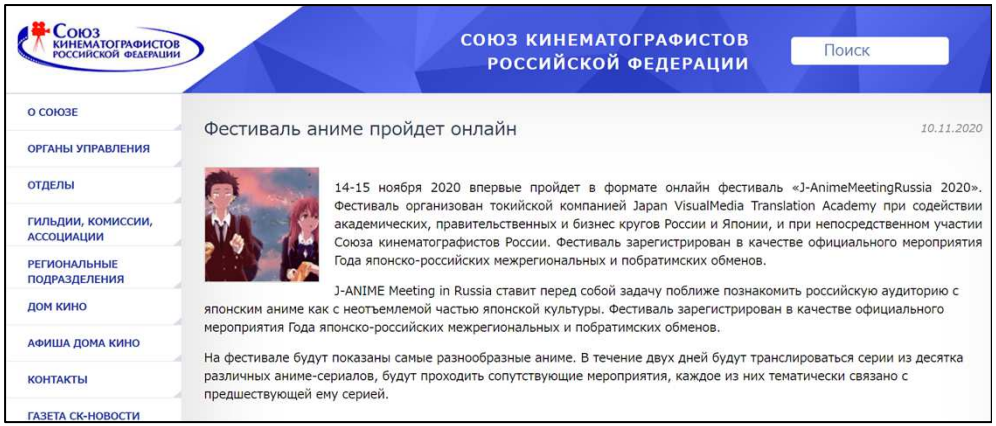
共催・協力団体ほか

HaRP (日露経済協力・人的交流に資する人材育成プラットフォーム)

モスクワ市立教育大学



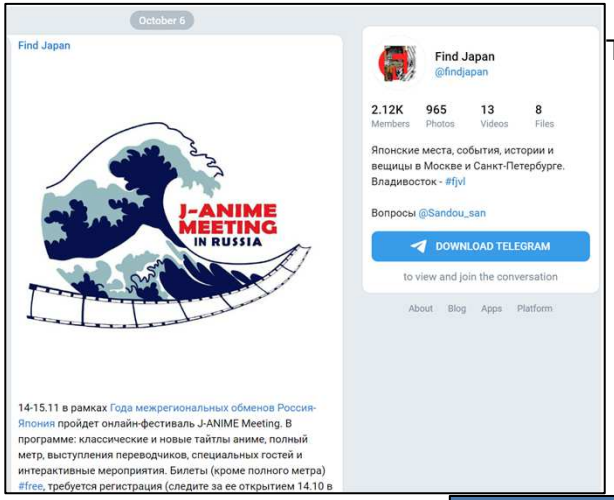
南部連邦大学 心理・教育学院



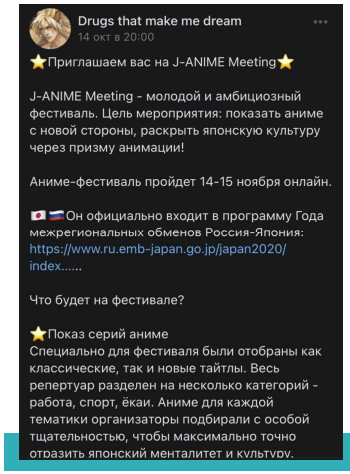
ロシア映画製作者連盟

広告 ロシア人ブロガーとの協力・ロシアで利用率の高いSNS (VK) を駆使した広告

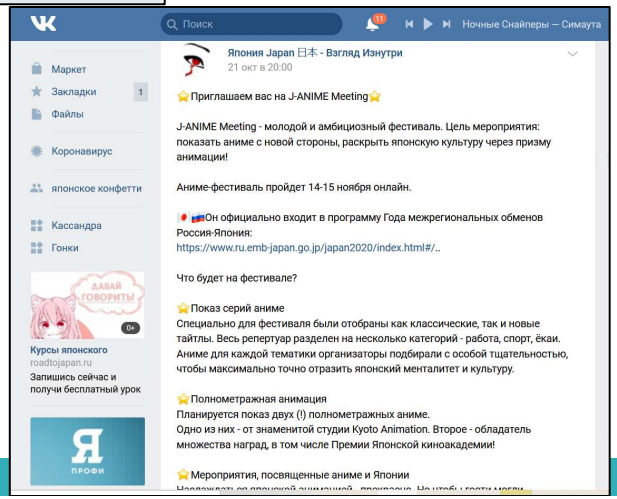
ロシア人インスタグラマー
（@ida_injapan：
5,782フォロワー）



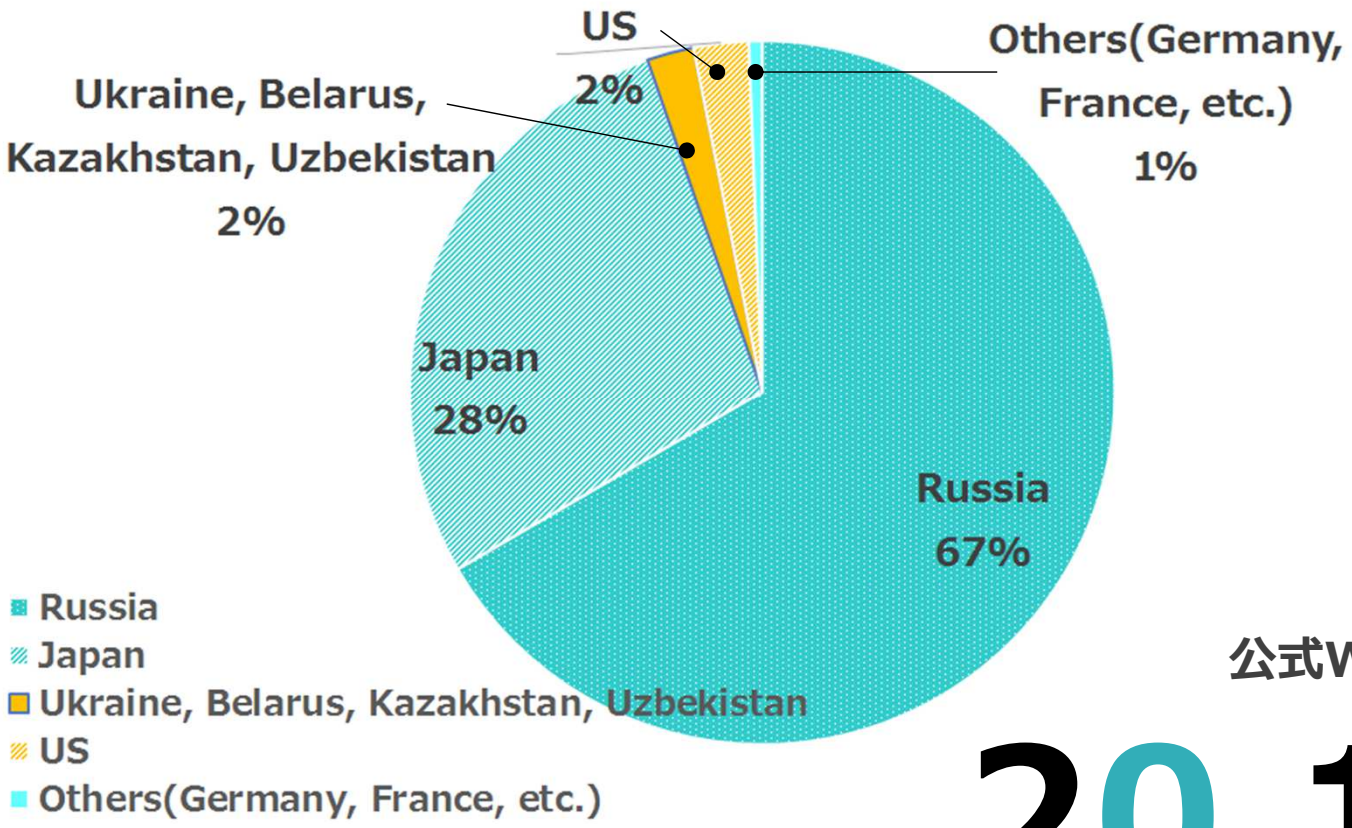
Telegramチャンネル
（”Find Japan”：**212,000フォロワー**）



VKコミュニティ
（”Drugs that make me dream”：
153,344フォロワー）



VKコミュニティ
（”Япония Japan 日本 - Взгляд Изнутри”：**41,886フォロワー**）



公式Webサイト・ページビュー

20,154pv

2020.Sep 01 – 2020.11.30に、Webサイトが閲覧された数

ライブストリーミング上映：

- 短編3作品

オンデマンド上映

- 長編2作品
- 短編7作品

イベント

- トークショー
- セミナー
- 学生発表
- ワークショップ

5,485 視聴数

➡Film Festival Plus＋YouTube

2020.11,14 – 2020.11.26

Thank you

J-Anime Meeting in Russia 2020
開催報告書

日本映像翻訳アカデミー（株）
東京都中央区日本橋本石町3－2－4
共同ビル（日銀前） 2，3F
TEL :81(0)3-3517-5550
FAX :81(0)3-3272-5057